



がどうだより

吟道賀堂流総本部 会報

創刊号 令和3年5月1日

発行 吟道賀堂流総本部

会長 磯部賀堂

発刊にあたって

新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりましたが、変異株による感染拡大が加速して再び緊急事態宣言が発令され、これまで以上に感染防止対策を徹底して行事や稽古を行わねばなりません。

情報交換・伝達の機会も減っており、総本部の活動状況や予定、各本部や会員の活動状況等をタイムリーに届けるために会報「がどうだより」を総本部事務局より発刊します。

機関誌「濤聲」が発行される年末までの春と秋に発行の予定です。皆様からの情報、ご意見を反映させて「がどうだより」をより良くしていきたいので、投稿をお願いします。



賀堂流総本部会長 磯部賀堂

リモートによる総本部役員総会

例年になく桜が早くほころび始めた姫路護国神社において、3月20日流碑祭終了後、総本部役員総会を開催。コロナ禍の為三密を避け、検温、消毒など細心の注意を払い、出席者を制限して代表役員による初めてのリモート会議で行った。

3月18日に逝去された森田賀尊前理事長に黙祷の後、議事を開始し、令和2年度の報告から始まって令和3年の役員改選、予算案と延期した第30回記念吟士権者決定大会の変更点が承認された。



- ・「がどうだより」年2回の発刊(春と秋)
- ・吟士権大会は令和4年度から「9月第二日曜日を基本とする。」
- ・賀堂流碑の功労物故会員の奉安は、
「師範及び修士以上、休会者は休会后二年までの物故会員を基本とする。」
- ・「吟詠の手引き」発刊と研修会開催
また「教本(四)」の発行が参議会で確認された。

賀堂流第58回流碑祭

流祖の偉業を顕彰する目的で昭和38年姫路護国神社境内に賀堂流碑を建立。以降毎年流祖の命日である春分の日、流碑前において宗家以下賀堂流一門並びにその遺族が参列して、護国神社神職により執行されてきた。

第58回になる本年の流碑祭は、3月20日(土)、近畿本部太子吟詠会のお世話で行われ、本年もコロナ禍での開催のために参列者を最小限にし、会詩合吟・奉納吟も行わず神事のみで執り行われた。

午前11時より開会の辞で始まり、神官参進・修祓後、功労者物故会員銘板を流碑裏の安置堂へ奉安。現在までの奉安は294柱。献撰、祭主祝詞・宗家祭文奏上、玉串奉奠、撤饌、閉式の辞で式典を終了。



本年奉安功労物故者名

総師範 今安賀公頌(京都牧水) 大師範 嶺本賀求道(近畿白陽)

宗 範 高井 賀旻(近畿白陽) 大師範 木村賀尊節(近畿太子)

第30回記念吟士権者決定大会

日時:令和3年9月11日(土)9時30分～

場所:姫路市文化センター 大ホール

内容:吟士権者決定競吟大会、幼少年、高齢者吟、

大合吟、構成吟 **参加申込み案内中**

※協力金のご協力ありがとうございます!



総本部行事予定

5月19日(水) 総本部審査員研修会 飾磨図書館

9月11日(土) 第30回記念吟士権者決定大会

10月1日(金) 「がどうだより」第2号発行

12月1日(木) 「濤聲」発行

近畿本部 —合吟チーム発会式と県連競吟大会開始—

去る4月8日(木)姫路市ふれあいセンターにおいて合吟部主催の合吟チーム発会式が、宗家・石井会長・幹部役員出席のもと挙行された。総勢80余名が半年ぶりの再会。

合吟チームの活躍は“賀堂流ここにあり”とその名声を全国に知らしめています。武道館で開催された全国50人競吟大会で女子優勝、兵庫県競吟大会では、男子8連覇・現在も5連覇中。男女揃ってのアベック優勝4回、更に女子チームも優勝と準優勝の敵なしの好成績を毎年残しています。

昨年中止となった県連吟士権大会の一般一部一次予選が3月28日、4月4日の両日に開催され、県内8会場に賀堂流から173名出吟し、117名が5月9日の二次予選にコマを進めた。

さあ、“今年もコロナに負けずに頑張るゾ…の勢いです！”



中国本部

第1回吟士権中国地区予選大会は平成2年8月12日に呉市広公民館参加93名で開催された。今年第30回記念大会の予選は6月6日に開催予定。

4月17日の総会は、コロナ禍の中で開催し、コロナに不安のある方は委任状により、事業報告・会計報告・予算案の審議を行い、また30回記念大会にバスか新幹線かの議論を行いました。もう暫く経過を見ることに成り、最後は会員増強をお願いして無事終了した。

コロナの一日も早い終息を祈念致します。

京都本部

京都本部は、昭和54年、牧賀公先生が創設された福知山市の「牧水吟詠会」と千阪賀秀先生が創設された長岡京市の「長岡京吟詠会」を統合して創設されました。現在の会員数は、157名。

これまで、財団や愛連コンクールに積極的に出場し、多くの優秀吟者を輩出しました。また、日常の活動としては、月例研修会、特別研修会、吟剣詩舞大会(以上長岡京)、地区文化祭への参加、吟詠おさらい会の開催(以上牧水)などの会員参加の活動も実施してきました。また、長岡京吟詠会では、市民の吟剣詩舞鑑賞会の開催や、市民詩吟講座や詩吟体験教室の開催など詩吟普及活動を行っております。

詩吟教室におけるコロナ対策

“コロナ対策を守って楽しく詩吟の稽古をしましょう！”

- ・入室時には検温と手指の消毒の励行
- ・生徒と先生の対面はマスク着用でも2m以上離れる
- ・生徒同士も左右1m以上離れる
- ・前の生徒の真後ろには座らず、ずれた位置に座る
- ・稽古で吟をするときは、基本的にはマスク着用、フェースシールドの場合は、先生と2m以上離れ、前には生徒がいないこと。

(日本吟剣詩舞振興会 H.P.より抜粋)

兵庫県総連盟より表彰される

賀堂流総本部は、兵庫県吟剣詩舞総連盟の発展向上への協力に対して、令和3年3月20日開催の結成40周年記念大会において表彰された。

また、また総本部石井賀崇石副会長が知事賞を授与されました。



吟道賀堂流の歴史(1)

流祖は幼少期の日露戦争後に姫路藩の詩吟を継承する漢学者の西村宣孝師に師事し、文学士の宮田勝三郎師につき朗詠法を習得。謡曲についても観世流の指南を受けて精通し「賀堂」を名乗って指導。その間も詩吟の吟詠法を研鑽し、豪壮にして幽霊な吟法を確立して、昭和9年11月に姫路朗吟奨励会を結成した。

賀堂流の譜節、胡麻譜の単音譜「直ぐ、浮き、抑え」は謡曲の「平胡麻、上がり胡麻、下がり胡麻」が基になっており、形が胡麻に似ているためにこの名があります。

吟と健康 オーラル(お口)フレイルを予防しましょう!(1)

「フレイル」(虚弱)とは、高齢になって心と体の働きが衰えてくる健康と介護の中間の状態です。足腰の予防には入念でも、口周りの衰えには気づきにくく、放置しがちです。

こんな事ありませんか?・・・しっかり噛めない・お茶などでむせる・口が乾く・舌がもつれる・こぼす・声がでにくい・声がかすれる。これらは衰えのサインです。少しのサインでも今から予防しましょう。予防には、舌や唇、頬の体操・早口ことば・唾液腺マッサージ・口腔ケアなどがあります。

詩吟は、腹式呼吸で腹圧の低下も予防し、口の体操になりますので、少しずつでも続けましょう!

私たちが編集します

この度、総本部の身近な会報として「がどうだより」を5月と10月の年2回発行することになり、私たちが担当することになりました。総本部や各本部の活動を掲載していきたいと思っております。皆様方から情報やご意見をお寄せください。

尚、今後このコーナーで総本部の役員の方々を紹介していきたいと思っております。



担当 高木賀崇峰、吉永賀鈴、片岡賀弘蒼、村山賀聖蓉

賀堂流ホームページ: <https://gadou.info>

連絡先 吉永賀鈴 TEL:079-298-5107
E-mail: garei_yoshi@yahoo.co.jp